

修了評価の方法

事業者番号 265
 事業者名 株式会社トータルウィン
 研修の課程 介護職員初任者研修（通信）

	確認・評価方法	理解度・合格基準	理解不足・不合格時の取扱い
① 各科目	<p>○出席簿により出欠を確認</p> <p>○担当講師がレポート等により理解度等を確認する。</p> <p>〈通信課題〉</p> <p>○担当講師が提出された課題の添削を行い、理解度を確認する。</p>	<p>○各科目の全ての実施時間に出席すること。</p> <p>○研修計画の各科目の修了時の評価ポイント（「職務の理解」及び「振り返り」の実習においては介護職の働く現場や仕事内容に対する理解度）に達していること。</p> <p>〈通信課題〉</p> <p>○研修計画の各科目の修了時の評価ポイントに達していること。</p>	<p>○やむを得ず欠席した場合は補講を受講すること。</p> <p>○理解度が不足していると認められる場合は、指導・助言・補講等による補習を実施した後に、レポートによる再確認を行う。（「9. ころとからだのしくみと生活支援技術」については、科目試験により評価を行うため除く。）</p> <p>〈通信課題〉</p> <p>○理解度が不足していると認められる場合は、指導・助言・補講等の補習を実施した後に、課題の再提出による再確認を行う。（「9. ころとからだのしくみと生活支援技術」については、科目試験により評価を行うため除く。）</p>
② 科目試験 (「ころとからだのしくみと生活支援技術」)	<p>○出席簿により出欠を確認</p> <p>○「9. ころとからだのしくみと生活支援技術」の講義・演習修了後、科目の時間内に実施。</p> <p>○筆記および口答試験については、担当講師が添削を行い、介護技術の習得度を評価する。 実技試験については、2時間実施し、実技試験評価担当講師が「評価マニュアル」に沿って介護技術の習得度を評価する。</p>	<p>○「9. ころとからだのしくみと生活支援技術」の講義・演習時間全てに出席していること。</p> <p>○100点満点法により、70点以上を合格とする。（課題の総得点の7割以上）</p>	<p>○やむを得ず欠席した場合は補講を受講する。</p> <p>○不合格の者に対しては、科目試験が合格になるように指導・助言・補講等による補習を実施した後に、再試験を行う。</p>
③ 修了試験	<p>○全科目の修了後に実施。</p> <p>○筆記試験を1時間実施し、担当講師が評価を行う。</p>	<p>○全科目修了後であること。</p> <p>○総問題数に対して7割以上を合格とする。</p>	<p>○不合格の者に対しては、修了試験が合格になるように、指導・助言・補講等による補習を実施した後に、再試験を行う。</p>
④ 修了認定	<p>○上記①～③の確認・評価を元に課程編成責任者が総合的に判断して認定する。</p>	<p>○上記①～③の理解度・合格基準を全て満たしていること。</p>	<p>_____</p>